

### 3 令和5年度 学校評価報告書

学校番号( 小05 ) 長崎市立( 伊良林小 )学校

#### 1 教育目標

自ら考え 自ら行動し ともにによりよく生きようとする子どもを育てる  
～すべては子どもたちの未来のために～

#### 2 学校経営方針

- 1 チーム学校
  - ・協働 ・ともに学ぶ ・地域、保護者、外部機関との連携 ・働き方の更なる見直し
- 2 授業づくり
  - ・いかに普段の授業を充実させるか ・複眼的で多面的な検討の機会を増やす
- 3 学年で動く
  - ・学年を基本単位に

#### 3 重点目標

- 1 基礎基本の定着と、確かな学力の向上を図る。
- 2 いじめで悩む子ども0（ゼロ）をめざし、早期発見・早期解決に努める。
- 3 運動に親しませ、体力の向上を図る。
- 4 一人一人の教育的ニーズに対応するために、支援体制の充実を図る。
- 5 「GIGAスクール構想」に対応できる校内体制及び教育課程の構築に取り組む。
- 6 働き方の更なる見直しを行い、教職員の心身の健康保持をめざす。
- 7 各教職員がPDCAサイクルを意識して、主体的・効率的に職務に取り組む。
- 8 開かれた学校をめざすとともに、家庭・地域との一層の連携を深める。

#### 4 自己評価

| 領域                     | 項目                    | 質問内容                      | アンケート結果   |     |     | 分析及び改善策  |
|------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------|-----|-----|--|
|                        |                       |                           | (肯定的割合・%) |     |     |  |
|                        |                       |                           | 児童生徒      | 保護者 | 教職員 |  |
| 学校経営                   | 教育目標                  | 教育目標を達成している               | 89        | 87  | 82  | 昨年度から数値は少し下がったが、概ね高い評価を得られている。業務改善については64だが昨年と比べると20ポイント上がっている。今後も行事や取組の厳選、会議の効率化などに取り組んでいく。   |
|                        | 学校の雰囲気                | 明るく楽しい雰囲気である              | 86        | 87  | 82  |  |
|                        | 組織運営                  | 校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している   |           |     | 83  |  |
|                        | 業務の改善                 | 校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している   |           |     | 64  |  |
| 心の教育                   | 生活・生徒指導               | ルールやマナーを身に付けている           | 86        | 90  | 55  | ルールやマナー、挨拶について、教職員の評価が低く、定着していないことが伺える。教職員の共通理解のもと、学級学年での更なる指導の強化が必要である。全校集会や学年集会等で重点項目として取り上げ、改善を図る。<br>「悩み相談」「いじめ防止」については、今後も児童と保護者の声に耳を傾け、寄り添いながら、素早く丁寧に対応していく。 |
|                        |                       | 挨拶をよくしている                 | 88        | 81  | 52  |  |
|                        |                       | 「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)    | 88        | 83  | 73  |  |
|                        |                       | 教職員は悩みや相談に親身に対応している       | 93        | 72  | 95  |  |
|                        | いじめ防止対策               | 学校はいじめ防止のための対策をとっている      | 93        | 75  | 90  |  |
|                        | 人権教育                  | 生命や人権を尊重しようとする心が育っている     | 95        | 90  | 86  |  |
|                        | 平和教育                  | 平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている | 91        | 87  | 76  |  |
| 特別支援教育                 | 学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている | 94                        | 77        | 91  |     |  |
| 確かな学力                  | 特色ある学校づくり             | 伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている   | 95        | 91  | 95  | 「分かりやすい授業」「キャリア教育」については、日常の研修の更なる活性化を図るとともに、HPや学校だよりなどを使って、学校の取組を保護者にも積極的に発信していくようにする。   |
|                        | 学習指導・教育課程             | わかりやすい授業を行っている            | 93        | 77  | 90  |  |
|                        |                       | 家庭学習の習慣が身に付いている           | 80        | 81  | 91  |  |
|                        | キャリア教育                | 将来の自立に向けて適切に指導している        | 88        | 75  | 91  |  |
| 長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである |                       | 93                        |           |     |     |  |

|         |            |                               |    |    |    |   |
|---------|------------|-------------------------------|----|----|----|---|
| 健やかな体   | 保健・衛生      | 衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている        | 93 | 89 | 86 | 基本的な生活習慣の改善に意識的に取り組めるよう、学校保健委員会等を中心として全家庭に啓発していく。<br>体力の向上については、授業や遊びの充実に加え、普段の生活の中で行える簡単な運動を紹介し推奨する。 |
|         | 体力向上       | 早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている | 80 | 80 | 82 |   |
|         |            | 体力向上に努めている                    | 88 | 74 | 86 |   |
|         | 食育         | 食に関する教育活動を行っている               | 81 | 84 | 82 |   |
| 信頼される学校 | 安全管理       | 児童生徒の安全に気を配っている               | 97 | 85 | 91 | 信頼される学校づくりのためにも、学校だよりやHPを利用し、継続して情報発信を行っている。<br>PTAや地域と連携を深めるために、双方向から意見を出し合い、活動の活性化を図っていく。           |
|         | 情報提供       | 学校の状況は通信やHP等で知ることができる         | 85 | 82 | 82 |   |
|         | PTA・地域との連携 | 学校はPTAや地域との連携がとれている           | 89 | 85 | 73 |   |
|         | 職員資質向上     | 研修が充実し、資質が向上している              |    |    | 91 |   |
| 教育環境    | 環境整備       | 教育環境が充実し、整備されている              | 94 | 90 | 91 | 同僚性を高くすることが、働きやすい職場づくりにつながる。今後も継続して取り組んでいきたい。   |
|         | 職場環境       | 学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる     |    |    | 73 |   |

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

今年度は新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたため、予定通りに教育活動を行うことができた。  
 成果としては、ICT支援員や情報教育担当、学校サポーターが現職教育を実施したことにより、教職員のICT機器の活用意識や技能が高まり、クロームブック等の活用が進んだこと。運動会の種目数の見直しや学校行事の精選等、より良い教育活動へ向けたスクラップ&ビルドが進んだことなどが挙げられる。  
 課題と改善策は、今後更に業務の改善と働き方改革を推進していくこと。上記に記したように日課の変更や会議の削減等を通して、改革を進めてきたが、全職員でより良い学校づくりに取り組んでいく意識を高めたい。教職員が情熱と使命感をもって教育に向かうことができる環境づくり(働きがいのある環境づくり)を行っていくことで、日々の教育実践の充実を図っていく。

## 6 学校関係者評価

○クロームブック(学習者用端末)の活用が進んでいることに驚いている。子どもたちは低学年からAIドリルを活用しており、個別学習に特化した学習ができています。しかし、それだけで学力が本当に大丈夫か不安もある。手書きドリル等を併用したり、調べ学習を行ったりして、自分で課題を解決する力を高めてほしい。  
 ○学校は社会に出るための学習の場でもあるので、人間性を育てるためにも生身の教師が関わってほしい。個別の支援が必要な児童や家庭が多くなっているため、学校だけではできないことは、地域や学童など周りに助けてもらうようにするとよいので頼ってほしい。  
 ○ICT化が進んでいるが、年配者にとって不親切な世の中となってきた。情報化社会となり便利にはなったが、だからこそアナログの大切さもよく分かる。児童に必要なこともあるので、アナログの教育も残してほしい。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○評議員の皆様の話から、伊良木の地域は子どもたちのことを考え協力したいという強い思いをもっていることが改めて分かり大変ありがたく思う。今年度は自治会主催の「伊良林校区まつり」やおやじの会主催の「鬼火焚き&餅つき大会」なども行うことができ、地域と関わる活動が多かった。PTAも無理なく活動を継続していけるように、専門部を無くし、一人一役の活動を見直すなどの改革トライアルに取り組んだ。トライアル1年目ということもあり、学校としてもうまく連携できなかった部分もあり反省している。学校に対する地域社会の期待は大きいものがあるので、地域・保護者と連携を密にしながら、協力していただき、子どもたちの健全育成に努めていきたい。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。